

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和5年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力をいただき、ここに「令和4年度租税教育指導事例集」が刊行されますことを心からお慶び申し上げます。

「納税」は「勤労」「教育」とならんで、国民の三大義務の一つです。収められた税金は「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となり、年金・医療などの社会保障・福祉や、私たちの生活を守る水道・道路等、社会インフラの整備、そして教育・警察など公的サービスを運営する費用に充てられます。

このように国民が互いに助け合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことはとても大切です。

近年、こうした公的サービスの重要性を認識する機会が多く感じられます。例を挙げますと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うワクチン接種や、昨年の地震や大雨の被害からの復旧などです。税金のおかげで我々の生活が保障されているとともに、財政面からも税が支えていることを考えますと、租税教育について学習し、興味をもち、見聞を深め、理解していくことは大事な取組と考えております。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、小学校21校、中学校5校で租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められたことは、誠に有意義であり、その推進にあたっていただいた各校及び佐沼税務署のご努力に敬意を表します。

さらに本書では、授業での租税教育指導の進め方について、具体的な実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒に「税」について分かりやすく理解させるため、工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されている租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

結びに、各小・中学校で租税教育の推進にご協力いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際しての挨拶とさせていただきます。

令和5年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

小野寺 文晃

目 次

小学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 第6学年	新田小学校	教諭	鈴木美樹		1
② 第6学年	登米小学校	教諭	佐藤正彦		2
③ 第6学年	宝江小学校	教諭	佐藤日向		3
④ 第6学年	中津山小学校	教諭	袋由利		4
⑤ 第6学年	米岡小学校	教諭	及川まゆみ		5
⑥ 第6学年	柳津小学校	教諭	加茂篤思		6

中学校指導事例（租税教育推進協力者名簿順）

① 社会科	登米中学校	教諭	中津川英樹		7
② 社会科	津山中学校	主幹教諭	藤浦悟		8

令和4年度 租税教育推進協力者		9
-----------------	-------	---

令和4年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿		10
--------------------------	-------	----

歴代租税教育推進協力者		11
-------------	-------	----

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金

登米市立新田小学校教諭 6学年 鈴木 美樹

実施年月日：令和5年1月13日 26名

1 実践計画・指導のねらい

学級のほとんどの児童は、生活経験として「税金」＝8パーセント、10パーセントの消費税として認識していた。しかし、消費税以外の税に関しては具体的に名称まで理解している児童はいなかった。また、ほとんどの児童は、税金の目的や使い道についても理解しておらず、「買い物をするときに、消費税がかからない方がよい。」と考えていた。本単元では、国や県、市の仕組みと税金の運用の仕方とともに、税金の必要性について理解させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	【国の政治の仕組みと選挙】 ・国会の働きを調べることにより、どのように予算が決めているかを理解する。	○ 国会の働きを調べよう。 ● 衆議院と参議院があり、国民と内閣と三角関係になっていることが分かった。 ● 国民が税金を払い内閣が予算を決めて国会が議決するのかわ。 ● 予算は衆議院の審議の後、参議院でも審議するのかわ。 □ 教科書 P24～25 資料集
2	【選挙の仕組みと税金の働き】 ・選挙の仕組みと税金の働きについて理解する。	○ 税金の働きについて調べよう。 ● 税金の集められ方は、消費税だけでなく住民税や所得税、土地や建物の税もあることが分かった。 ● 税金は、消防署や学校、ごみ処理や道路整備など私たちのくらしのために使われていることが分かった。 ○ 増税についてA党とB党のどちらか話し合おう。 ● お年寄りのためには増税した方がよい社会になると思う。 ● 増税すると困る人がいるから、まず無駄を省けないか調べた方がよいと思う。 □ 教科書 P26～27 資料集
3	【子育て支援の願いを 実現する政治】 ・市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて資料を活用して必要な情報を集めて読み取る。	○ 「あすばる」にかかる費用を調べよう。 ● 建設費が1億4000万 運営費2000万 ● 利用料金は無料なのに ○ 「あすばる」を作るための費用について調べよう。 ● 費用は、補助金・税金・市債（借りたお金）だった。 ○ 人々の願いを実現するための費用についてまとめよう。 ● 税金は私たちの生活をさせる大切なものだ分かった。 ● みんなの幸せのためには税金が必要なが分かりました。 □ 教科書 P42～43
4	【学びを深める】 ・税に関する標語、絵はがきの作成に取り組む。	○ 税金の大切さを表現しよう。 ● 税金を 知って納めて いいくらし ● 学校に 毎日行ける ありがたさ
5	【租税教室】 ・税金の役割や自分たちの生活とのかかわりについて考える。 ※ゲストティーチャー 佐沼法人会	○ 税金が使われているものと使われていないものに分けよう。 ● 「学校」「公民館」「消防署」「警察署」には使われていることが分かった。 ○ 税金がなくなるとどうなるだろう。 ● 学校生活にお金がかかるようになるのではないわ。 ● 救急車や消防車が呼べなくなり、ごみ収集がされなくなることが分かった。 □ DVD（マリンとヤマト 不思議な日曜日） 

【指導のポイント】≪1時間目≫

個別の調べ学習を取り入れ、資料から国会の働きについてまとめさせた後、全体で共有する。その後、本時の課題について分かったことをまとめさせ、評価につなげた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

税金の集められ方、使われ方についての調べた後に、実生活を想起させ、実感を持てるようにした。話し合い活動は、ディベートを取り入れ、様々な視点で意見交流し合い、話し合いが盛り上がった。

【指導のポイント】≪3時間目≫

建設費、運営費の額の大きさを捉えた児童は利用料金が無料であること、他の事業にかかる経費等から税金の必要性について話し合うことができた。授業のまとめでは、税金の役割について考え発表することができた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

税に関する学習について教科書やノート資料を振り返り、その中から一人一人にキーワードを見出させ、作品作りにつなげた。

【指導のポイント】≪5時間目≫

児童の税への実感を持たせるため、1億円の重さ体験や身近な税の使い道などについて理解を図っていただく。後半は、DVDの視聴により税の必要性について理解を深める展開で指導いただく。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 社会科の授業実践後に標語や絵はがきの作成や租税教室を実施することにより税の働きや仕組み等について理解を図ることができた。
- ◎ 児童は税の必要性や運用の仕組みについて考え、気付いたことを積極的に自分の言葉でまとめることができた。
- ◆ 社会科での税の指導時期が1学期になっているため、間をあげずに租税教室を計画したい。

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税金

登米市立登米小学校教諭 6学年 佐藤 正彦

実施年月日 令和4年6月23日 33名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、日常生活の中で「税金」についての意識は低く、「税金」がどのように使われているか知らずに生活している児童がほとんどと言える。本実践において、社会科の授業を軸に「税金が自分たちの生活を豊かにするため」に使われており、国民が納税することが義務である意味を理解させたい。さらにゲストティーチャーを招いての租税教室を設定したり、税に関する標語を考えさせたりすることを通して、より「税金」への理解を深めさせていきたい。

2 単元構成・実践の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、児童の反応（●）、使用教材等（□）
1	・国の政治と選挙の仕組みについて知るとともに、税金が予算に基づいて、国民の生活に活用されていることを理解する。	○ <u>国会の働きについて調べよう。</u> ● 国会は国の法律や予算を決めている。 ● 国民は選挙により、民意を反映した代表者の議員を選ぶことで政治に参加していることと、議員は予算の内容を決める役割を担っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
2	・税金の働きについて調べ、公共のサービスや施設にかかる費用の多くは、税金が活用されていることを理解する。	○ <u>税金で何ですか。</u> ● 「さとふる」ってテレビで見たことがある。 ● 消費税を払っている。 ● 税金は身近な生活で、活用され役に立っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
3	・登米法人会からゲストティーチャーを招き、「租税教室」を実施し、税金の種類や使われ方、税金の必要性について理解を深める。	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けよう。</u> ● 学校、公民館、消防署、警察署…は税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなった世の中はどうなるでしょうか。</u> ● ゴミが町中にあふれてしまう。 ● 事故が起きても、警察署や救急車に来てもらえない。 □ 「マリンとヤマト 不思議な日曜日」 デジタル教材
4	・税金について学んだことを基に、税金の大切さを標語に表す。「税に関する標語」に応募する。	○ <u>税金の大切さを伝える標語を考えよう。</u> ● 「納税で 笑顔あふれる 明るい未来」 ● 「税金は 豊かな暮らしの あいことば」 ● 「税金は 暮らしの安心 支えてる」 ● 「税金で 明るい未来に 変えていこう」 ● 「消費税 私国を 動かしている」
5	・税金の学習で学んだことを振り返る。	○ <u>学んだことを振り返り、税金についての考えを書こう。</u> ● 納税の義務は一人一人が守るべきことであり、自分が大人になったら、税金をしっかりと納めていこうと思いました。 (アンケートとして提出済み)

【指導のポイント】＜1時間目＞

国民主権について考えさせる中で、国民の意見を反映させ、税金の使い道が決められていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

身近なところで税金がたくさん活用されていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

DVDを鑑賞したり、クイズに答えたり、1億円のレプリカに触れたりすることを通して、税金への興味関心を高めるとともに、税金が自分たちの生活に不可欠であり、納税の義務への理解を深めさせることができた。

【指導のポイント】

＜4・5時間目＞

学習のまとめとしての感想を書かせるとともに、税金の大切さを自分の言葉で表現させることで、より税金の大切さを実感させることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 「教科書での学習」「租税教室」「税に関するコンクールへの参加」と関連付け、多様な方法で税について考えたり、知識を見付けたりする機会を設定したことで、税金の必要性や税金の使い道、納税の義務の意義についての理解を深めることができた。
- ◎ 外部よりゲストティーチャーを招いて学習したことで、楽しく学習に取り組ませることができた。
- ◆ 税金の種類について、詳しく学習する場面を設定できなかった。タブレットでの家庭学習を取り入れるなどの工夫が必要である。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立宝江小学校教諭 6学年 佐藤 日向

実施年月日：令和4年6月14日 24名

1 実践計画・指導のねらい

児童は、5月に「わたしたちの生活と政治」の学習で、税金を納めることが義務であることを学んでいる。聞いたことのある税金について尋ねたところ、消費税や自動車税などが挙げられたが、児童は他にどのような種類の税金があり、集められた税金が、自分たちの生活の中でどのように使われているのかを具体的には知らない。そこで本単元の学習を通して、生活を支える税金の種類、税金の使われ方、税金の重要性について理解し、税金に対する自分の考えを深めさせるとともに、税金の使い道を決める国会議員を選ぶことの重要性についても気付かせたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・国会の働きと選挙の仕組みについて理解する。	○ <u>国会の働きについて調べましょう。</u> ● 国会では、予算や法律を決めるはたらきがある。 ● 国会議員は、選挙によって選ばれる。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
2	・税金の種類や使い道について知る。 ・消費税の増税について、自分ならどちらの政党に票を入れるかを話し合わせる。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 買い物をしたときに消費税がかかる。 ● おうちの人が自動車税を払っていたな。 ● 税金の種類はよく知らない。 ● 税金が生活の中にどう役立っているのかわからない。 ○ <u>増税する政党と、現在の税金の使われ方を見直す政党のどちらに票を入れますか。</u> ● お年寄りを支えるためにも、増税は必要だと思う。 ● 税金は大切だが、消費税を高くすると困る人も出てくると思うので増税しない方がいいと思う。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」
3	租税教室 ・身の回りのどのようなところで役に立っているのかを知り、税金の重要性を理解する。	○ <u>税金が使われている施設はどこでしょう。</u> ● 学校、公園、公民館、交番、消防署などの公共施設。 ○ <u>税金がなかったら、どんな暮らしになるのでしょうか。</u> ● 学校に通えない。ごみが回収されない。救急車を呼ぶのにもお金が掛かってしまう。火事が起きても消火されない。 ● 税金がないと困る。 □ DVD視聴「マリンとヤマトの不思議な日曜日」
4	・登米市の収入の内訳や使い道を調べる。	○ <u>登米市の予算や税金の使い道を調べましょう。</u> ● 登米市は、子どもやお年寄り、障がい者に対する取り組みに使う費用の割合が高い。 ● 登米市では、保健や医療関係の充実のための事業や、市民がより生活しやすくなりするための事業がたくさんある。 □ 「登米市の予算とまちづくり（令和4年度当初予算）」
5	・これまでの学習を振り返り、分かったことや大事だと思ったことを絵はがきに表現する。（「令和4年度税に関する絵はがきコンクール」に応募。）	○ <u>税に関する絵はがきを描きましょう。</u> ● 税金の大切さが分かるように呼びかけよう。 ● 税金がなかったらどんな暮らしになってしまうかを想像して描こう。 ● 税金が使われている施設や場面を描こう。

【指導のポイント】＜1時間目＞

国会では税金の使い道について話し合っていることや、国会議員は国民の投票によって選ばれることをおさえた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

「何となく。」ではなく、なぜその政党を選んだのか、理由を考えさせてから意見交流をした。1時間目の学習にも触れながら、税金の使い道を含めた各政党の主張を知り、よく考えて投票することの重要性について強調した。



【指導のポイント】＜3時間目＞

税務署の方をゲストティーチャーとして迎え、税の基礎知識について講話をいただいた。DVDを視聴し、税金がないとどうなるかをイメージすることで、より税金の大切さに気付くことができたようにした。

【指導のポイント】＜4時間目＞

自分たちが住んでいる登米市の予算を調べることで、税金をより身近に感じることができたようにした。

【指導のポイント】＜5時間目＞

学習したことをもとに、税金の学習で特に大事だと思ったことを表現することができた。完成した絵はがきを見せ合いながら、税金の大切さや学習で分かったことについて意見を交流させた。



3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 単元の学習を通して、税金の重要性を理解し、税金を身近に感じることができた。税金が使われている具体的な場面や自分の市の予算を調べることで、税金を自分事として考えることができた。
- ◎ 租税教室では、税についての知識や使い道などについて小学生にも分かりやすく教えていただいた。1億円のレプリカにも、多くの児童が興味を示していた。
- ◆ どんな種類の税金があるのか、こちらが税の種類を示し説明したが、児童がより主体的に税金について学ぶために、登米市の予算の資料などをもとに、自分が気になる税金について調べ、まとめさせるなどの活動を取り入れればよかったのではないかと考える。

身近な生活と税金のかかわり～私たちが主人公～

実施年月日：令和4年5月27日 25名

児童の実態調査から、「税金」という言葉は全員が知っていた。また、税金の中に消費税があることや買い物をする際に 10%の消費税を支払っていることも知っていた。しかし、その目的や使い道についてはよく分からない児童がほとんどであった。「高い買い物をする」と損した気持ちになる。」「消費税は払いたくないのが本音だ。」という声が聞かれた。そこで本単元では、災害復旧の取組について学習しながら、税金の役割と必要性に気付かせ、税金についての正しい知識を身に付けさせたい。

時間	学習内容	主な発問 (○)、こともたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	つかむ【東日本大震災の発生】 ・東日本大震災の発生とまちの人たちの願いについて話し合い、学習問題をつくる。	○ 災害にあった人たちは、どのような願いをもっていたのだろうか。 ● 住むところを何とかしてほしい。ライフラインを整えてほしい。 ● 当たり前の生活に早く戻してほしい。(学校や職場、スボ少や習い事など) ● 地震で陥没したりゆがんだりした道路が元に戻ることができたのはなぜだろう。 □ 使用教材名 宮城県登米市「東日本大震災の記録」
2	調べる【東日本大震災への緊急対応】 ・地震直後の市や県、国の取組について調べまとめる。	○ 東日本大震災が発生したとき、市や県、国はどのような取組をしたのだろうか。 ● 市は災害対策本部を設置し、避難所開設や被害状況の確認をした。 ● 宮城県や国は自衛隊に派遣要請をし、物資を送る準備などをした。
3	調べる【復旧・復興に向けた国の支援】 ・災害復旧や復興に向けた国の取組について調べまとめる。	○ 復旧・復興に向けて、国はどのような取組を行ったのだろうか。 ● 国は第一次補正予算を成立させた。 ● 必要な法律をすみやかに制定したり、特別な予算を立てたりした。
4	調べる【税金の働き】 ・市民の願いを実現するための「税金の使われ方」について調べまとめる。	○ 登米市の道路を修復するための費用はどこから出されたのだろうか。 ● 税金を使って建てられた。国からの援助。 ● 税金は自分たちの暮らしや社会を支える大切なもの。 □ 使用教材名 小学校社会科学習資料「わたしたちのくらしと税金」 国税庁ホームページ「税の学習コーナー」
5	調べる【租税教室】 ・税金が自分たちの生活と密接にかかわっていることや税金の必要性などについて理解する。	○ 税金は自分たちとの生活にどのようにかかわっているのだろうか。 ● もし税金を支払わないと大変なことになる。まちがゴミ屋敷になる。火事になっても助けられない。 ● 1億円の重さを体感し、お金の大切さを実感した。 ● みんなが豊かで安全・安心な生活を送るためのもの。 □ 使用教材名 DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
6	調べる【復興を願う市や市民の取組】 ・復興に向けて、市や市民の取組について調べまとめる。	○ 気仙沼市では復興に向けてどのような取組をしたのだろうか。 ● 震災復興計画を立て、住宅や道路、橋の整備、魚市場の建設などをした。 ● 新しいまちづくりには税金が使われている。
7	調べる【これからのまちづくり】 ・これからのまちづくりに向けた課題や取組について調べまとめる。	○ 気仙沼市にはどのような課題があるのだろうか。 ● 人口の減少。 ● もっと魅力のあるまちづくりを進めていきたい。
8	いかす【自分たちの地域に目を向けてみる】 ・3年後に米山町内3校が統合する公共施設複合化整備事業について知る。 ・みんなにとってよい施設(学校)にするにはどのようにしたらよいか話し合う。	○ 小学校3校が統合する際、どのくらいの税金がかかるのだろうか。 ● 米山総合支所、米山公民館、米山体育館、米山児童館、小学校がひとつになるから新しいまちができそうだ。 ● 多額の税金が使われることになる。 ● 自分たちの税金が使われることになるので、大切にしていきたい。 ● 地域のみんなにとって大事な施設になるので、大切にしていきたい。 □ 使用教材名 宮城県登米市「登米市の予算とまちづくり」

子どもたちは東日本大震災の年に誕生した。「東日本大震災の記録」資料を活用し、当時の被害状況や震災直後の生活の様子について示した。被災した人たちの願いについて考えさせた。

デジタル教材を活用したことで、がれきの撤去の様子や復旧・復興していく様子を映像で捉えることができ、まちが少しずつ変化していく様子を確認することができた。合わせて、まちの復旧や復興には多額の費用がかかることに気づき、その費用がどこからまかなわれているのか興味・関心をもつことができた。

1 時間目に児童から出された疑問を課題設定したことで、意欲的に税金について調べることができた。資料を活用したことで、税金について多面的に学ぶことができた。次時の租税教室へとつながることができた。

1億円のレプリカや分かりやすい内容のDVDが効果的だった。子どもたちにとって身近な生活に関する内容や学校がテーマになっていたことがよかった。税金のありがたみや必要性に気付くことができた。

学習したことを生活に生かそうと、地域に目を向けさせた。税金の役割や必要性について自分事として捉えることができた。

◎ 東日本大震災による復旧・復興の学習を通して、自分たちの暮らしと政治の働きについて理解することができた。そして、その費用は税金によってまかなわれていることを知り、理解を深めることができた。

◎ 外部講師による租税教室を実施したことで、児童の関心が高まり税金の大切さを実感することができた。また、税金の種類や使いみちだけでなく、税金の必要性や納税の義務について理解することができた。児童の感想からもその様子がうかがえた。

「税金がないと環境が悪化し、安全な生活が送れないことが分かった。」「税金がないと万が一火事が起きた際、国がお金を支払ってくれないので、火事を出した家が多額なお金を請求されることを知った。それではいけないと思う。」「小学校の授業料が1ヶ月70,000円、1日3,500円もかかってしまったら大変なことだ。」「税金はしっかり納めなければならない。」

◎ 学んだことを生かし、「税に関する絵はがきコンクール」「税に関する標語コンクール」に応募した。標語コンクール 優良賞4名

◆ 国の政治や税に関する学習は4月～6月である。絵はがきコンクールや標語コンクールの時期とずれが生じ、学んだことをすぐに生かすことができなかった。

◆ 消費税以外の税は子どもたちにとってなじみがないので、おうちの人へ納めている税金についてインタビューするなどの活動があれば、さらに理解を深めることができた。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立米岡小学校教諭 6学年 及川 まゆみ

実施年月日：令和4年6月10日 24名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、税金という言葉は知っているが、その働きや使われ方を理解している児童は少ない。また、税金と自分たちの生活に関わりを持っていることを意識している児童も多くはない。そこで、本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解させ、自分たちの生活との関わりについても気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・ 税金について知っていることを話し合う。 ・ 税金の働きについて教科書や資料集を活用して調べる。	○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 消費税。 ● よく知らない。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	・ 税金の働きについて、調べたことをまとめる。	○ 税金について、調べたことを発表しましょう。 ● 公共サービスや公共施設の多くの費用は、税金によって賄われている。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
3	・ 子育て支援センター「あすばる」を建設、運営するための費用は税金であることを知る。	○ 子育て支援センター「あすばる」を建設、運営する費用は、どこから出ているか調べましょう。 ● 税金。 ● 建設費用に1億4,000万円も掛かっているなんて驚いた。 ● 登米市でも、同じような施設は税金から賄われているのかな。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
4	「租税教室」 ・ 税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。 （登米法人会からゲストティーチャーを招いて実施した）	○ 税金が使われている施設とそうではない施設はどれですか。 ● 公民館、学校、警察署。 ○ 税金がないと、どうなるのでしょうか。 ● 安心して生活することができなくなる。 ● 橋の修理にも税金が使われていたのは知らなかった。 ● 救急車を呼ぶのにもお金が掛かるなんて信じられない。 □ 使用教材 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 
5	・ 税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」「税に関する絵はがき」を作成する。	○ 税金の大切さや働きを伝えるために標語や絵を考えましょう。 ● 「税金は 生活を守る 第一歩」 □ 使用教材名 まんが「おじいさんの赤いつば」

【指導のポイント】＜1時間目＞

多くの児童は、消費税以外の税金の種類を知らない。そのため、他にも税金の種類があることを伝え、学習意欲を高めた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

税金の使われ方を調べる際は、「法人税」「所得税」「インフラ」等、児童にとって理解が難しい語句が出てくる。分かりやすく説明したり、具体的に例示したりする必要がある。

【指導のポイント】＜3時間目＞

登米市の子育て支援センターを提示したり、実際に通っていた児童に話をさせたりすることで、施設やその必要性について具体的にイメージさせた。

【指導のポイント】＜4時間目＞

ゲストティーチャーの講話やDVDの視聴、税金に関するクイズ等を通して、税金の働きや大切さについて理解させた。

【指導のポイント】＜5時間目＞

授業や租税教室で学んだことを振り返らせ、「税金がないと、どんな生活になるか」という視点で考えさせた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では、税金の働きを分かりやすく教えていただき、多くの児童が税金の働きやその大切さについて理解することができた。また、実際に登米市で税金で賄われている施設を紹介していただいたことで、自分たちの生活と税金との関わりに気づき、理解を深めることができた。
- ◎ 税に関する標語や絵はがきコンクールへの作品応募を通して、社会の学習や租税教室で学んだことを振り返り、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 税金について、児童に実感を持った理解をさせることは難しい。税金で賄われている公共サービスの例を更に提示し、調べ学習に十分な時間を確保することで、自分たちの生活と税金を結び付けた理解をより深めさせることができたのではないかと考える。

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金

登米市立柳津小学校教諭 6学年 加茂 篤思

実施年月日：令和4年5月30日 13名

1 実践計画・指導のねらい

人々の願いを実現するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。児童にとって身近な消費税については多少知っているものの、なぜ税が必要でどのように使われているかということへの興味・関心が高いとは言えない実態がある。わたしたちの生活や社会を支えるために大切な税金について調べたり考えたりすることで、税金について正しく理解させていきたい。また、税金が使われている場面に着目して調べていくことで、税金が果たす役割を理解するとともに、一人一人の納税が社会を支えていることについて気付かせ、政治への興味・関心を高めていきたい。

2 単元構成・指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、子供たちの反応（●）、使用教材等（□）	
1	・税金について知っていることを出し合い、税金の種類と使い道について調べていくことを確認する。	○ 税金について知っていることを出し合いましょう。 ● 買い物したときに消費税がかかる。 □ 使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 教科書「新しい社会」政治・国際編 p 27	【指導のポイント】《1時間目》 税金についてのクイズをしたり、児童にとって身近な消費税を取り上げて考えさせたりすることで、興味・関心を高めた。
2	・ゲストティーチャーを招き税金についての話を聞くことで税金の必要性について理解する。	○税金にはどのようなものがありますか。 ●消費税、自動車税、住民税 ○税金はどのようなところで使われていますか。 ●公共施設、道路、学校 ○税金がなくなったらどうなるのでしょうか。 □使用教材名 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ○税金が使われているところはどこでしょう。 ●考えながらカードを分別する。	【指導のポイント】《2時間目》 税務署からゲストティーチャーを招き、クイズやDVD視聴など様々な手立てを講じながら分かりやすく説明いただくことで、税金の必要性について気付かせることができた。
3	・市の収入や支出の内訳から税金がどのように使われているかを調べる。	○市の収入にはどのようなものがあるでしょう。 ●税金、補助金、借入金 ○集めた税金はどのように使われるでしょう。 ●教育、医療、ごみ処理、公共事業 □使用教材名 副教材 登米市の予算とまちづくり 登米市広報 教科書「新しい社会」政治・国際編 p42～43	【指導のポイント】《3時間目》 教科書と登米市の資料を合わせて考えていくことで、身近な問題として捉えさせることができた。
4	・税金について調べたことや考えたことをまとめ、意見を交流し合う。	○学習を振り返り、まとめをしましょう。 ●人々の願いを実現するための費用に税金は使われている。 ●税金はわたしたちの生活を支える上で欠かせないものである。 □使用教材名 副教材 「わたしたちのくらしと税金」	【指導のポイント】《4時間目》 租税教育のまとめとして「税に関する標語コンクール」「税に関するはがきコンクール」に出品する作品づくりを行った。税金があることで自分たちのくらしが守られていることを確認した上で、標語やはがきの中に、思いを表現させるようにした。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

（租税教室実施後、教師自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考にしてほしい事項など）

- ◎ ゲストティーチャーからの分かりやすい資料提示や説明により、児童は税金の必要性を理解するとともに、税への関心を高めることができた。
- ◎ 消費税や、登米市の税の使われ方など、児童にとって身近なものを資料として提示することで、学習への意欲付けを図ることができた。自分たちも税金を支払っていること、税金によってくらしが守られていることを実感させることができた。
- ◎ 標語やはがきのコンクールに応募したことで学習のまとめにもなり、児童の税に対する意識を高めることにもつながり成果を感じられた。
- ◆ 税に関する用語やその理解について個人差があることから、できるだけ易しい表現で分かりやすく説明していくことが必要だと感じた。
- ◆ 税の学習は、国や市の政治・経済に目を向けさせるよい機会となった。児童に興味・関心を持たせていく手立てとして、新聞や広報など具体的な資料を提示して、継続的に児童に考えさせていくことが大切であると考えている。

租税教育実践レポート

財政の問題点について

登米市立登米中学校教諭 3学年 中津川 英樹

実施年月日：令和5年1月30日 31名

1 実践計画・指導のねらい

本単元は、国民生活の向上と福祉の向上を図る上で市場の働きにゆだねることが難しい諸問題について、身近な事象を取り上げ、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割を考えさせ、さらに考えを深めるために、統計資料を活用し、根拠を明確に示した説明ができるようにさせたい。学習の展開としては、問題解決的な学習を展開し、予想を立てることを大切にして、調べる学習を通して知識の交流が行われ、さらに多面的・多角的な考察へと深まるものとしたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）	資料 ◎評価（方法）
導入 5	1. 前時の税の種類について復習する。	○ 消費税が値上がりしたら、どう思いますか。 ● たくさんお金を払わなければならないから、いやだ。 ※最近の増税案を紹介する。 ○ どうして国民が苦しむ消費税の増税を考えているのか ● 国のお金が足りないから。・歳出が増えているから。・借金がある。・少子高齢化が進んでいる。	デジタル教科書
展開 35	2. 学習課題に対して予想する。 3. 国の財政について調べる。 4. 地方公共団体の財政について調べる。 5. 国に依存する地方財政の問題について考える。	○ どんな問題があるだろう。予想してみよう。 ● ワークシートに記入し、発表する。学級全体の仮説を立てる。 ・税収入だけでは、国のお金が足りないからだろう。 ・国の借金がある。 ○ 資料1から国の財政にはどんな問題がありますか ※税収入だけでは不足しており、国民からの借金（公債金）で補っていることに注目させる。さらに、歳出の公債金と歳出の国債費を比較させ、返済し切れていないことに気付かせる。 ○ 資料2も関連づけて考えると、どんな問題がありますか。 ※国債依存度の変化と国債残高の変化を読み取らせる。 ● 国債への依存度が近年増加してきている。 ※ノートに記入させる。発表し合い、他人の発表から、自分の読み取りに付け加える。 ○ 地方公共団体（登米市）の財政のバランスはどのようになっているのだろう ※市税、市債だけでなく、国庫支出金、地方交付税交付金に着目させ、理解させる。 ※地方公共団体の財政が、国の財政に依存していることに気付かせる。 ○ 地方公共団体の財政が、国に依存しているとどんな問題があるのだろう。 ● 地方自治が国の財政に影響される。 ● 地方公共団体独自の活動ができない。	資料1 国の歳入と歳出の内訳のグラフ ※デジタル教科書 資料2 国債の発行残高と国の歳入に占める国債の依存度のグラフ ※デジタル教科書 資料3 登米市の歳入と歳出のグラフ
終結 10	6. 国や地方公共団体の財政の問題点から今後の財政のあり方を考える。	○ 国と地方公共団体の財政の問題点を自分の言葉でまとめ、今後の財政のあり方を考えよう。 ● 消費税などの増税を再度行う。 ● 地方公共団体の財源を安定させる。 ● 歳出を見直す。 ※ ノートに記入させる。班で発表し合う。他人の発表（ノート）から、自分の考えに付け加える。	◎ 国と地方公共団体の財政の問題について、解決策を考えることができる。（ノート）

【指導のポイント】
登米市の歳入と歳出のグラフを活用することで地方財政の課題に気づかせる。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 夏休みの課題として「税の作文」に取り組ませている。今回初めて、入選した生徒にその作文を朗読させてみたところ、クラス全体の単元への取り組みが意欲的になったように感じた。今後も継続していきたい。
- ◆ 本単元は、難しい資料が多いためデジタル教科書を活用することが多かった。今後はタブレット端末を使つての調べ学習も計画的に行ってきたい。
- ◆ 消費税については、時間をとってさまざまな立場から考察させることによって課題についての理解を深めることができるのではないかと考える。また同様に、登米市の資料についてはもう少し時間をかけてじっくりと取り組ませるべきであった。

租税教育実践レポート

学習プリントと租税教育パンフレットを活用して

登米市立津山中学校主幹教諭 藤浦 悟

実施年月日：令和4年12月1日

1 実践計画・指導のねらい

指導単元「財政と国民の福祉」では、政府(国や地方公共団体)の財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。特に、国民の生活と政府の役割について財政の健全化と社会保障の充実に焦点をあてる。租税教育パンフレットや広報紙を活用して主体的に学習に取り組ませることで身近で具体的な課題として捉えさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況 (単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

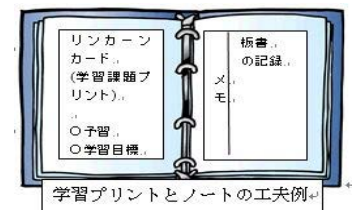
時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
事前学習	1 税の作文を書こう 7月12日(火)	○ 税の身近な使われ方から課題を見つけて作文を書こう。 ● 税は国民のさまざまな生活面で使われている。 ● 税にはさまざまな課題があり、解決させなければならない。 ● 納税をしている家族から話を聞いて題材を設定しよう。 □ 「中学生の『税についての作文』を応募いただく生徒の皆さんへ」(仙台国税局・佐沼税務署制作) □ 国税庁ホームページ、私たちの暮らしと税
	2 租税教室 7月13日(水)	○ 税の仕組みについて専門家から体験的に学ぼう。 ● 税金は社会の会費である。 ● 税の役割や納税の義務 □ 1億円レプリカ、査察の仕事(DVD)
1	1 地方公共団体の課題 ・地方財政 ・自主財源と依存財源	○ 地方公共団体の財政の課題を登米市の例から考えよう。 ● 地方公共団体の財政の課題として依存財源が多い。 ● 登米市の財政は国、県、市債に依存している。 ● 地方分権をするために、登米市では地場産業の育成やふるさと納税制度等を活用している。 □ 広報TOME、リンカーンカード(独自ワークシート) 登米市の「ふるさと納税について」
	2 私たちの生活と財政 ・直接税 ・間接税 ・累進課税	○ 政府の経済活動＝財政や租税のしくみがわかる。 ● 租税には納税の仕方で直接税と間接税に分けられ、様々な種類がある。 ● 税を集めるのは国や地方公共団体の政府である。 ● 累進課税は公平性を保つための仕組みである。 □ 私たちの暮らしと税、リンカーンカード
3 (本時)	3 財政の役割と課題 ・社会資本(インフラ) ・公共サービス ・公債 ・財政政策	○ 政府の財政政策のしくみがわかる。 ● 政府は集めた税などを社会資本(インフラ)や公共サービスにかえて国民の生活に役立っている。 ● 政府は公債を発行して税収の不足を補っている。 ● 政府は財政政策を行うことで景気の安定を図っている。 □ 私たちの暮らしと税、リンカーンカード
4	4 社会保障の仕組み ・社会保障(憲法第25条) ・4つの社会保障制度	○ 社会保障制度のおこりと基本的なしくみが分かる。 ● 社会保障は憲法第25条で、生存権の保障や国の役割として明確に規定されている。 ● 社会保障は政府(国・地方公共団体)が果たすべき役割である。 ● 社会保険は税の他、利用者による保険料負担によって賄われている。 □ 私たちの暮らしと税、リンカーンカード
	5 少子高齢化と財政 ・介護保険制度 ・後期高齢者医療制度	○ 少子高齢社会に対応した財政対策を考え出そう。 ● 介護保険制度は少子高齢社会に対応した制度である。 ● 後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者に対応している。 ● 少子高齢化がますます進行していく中で、社会保険の財源の確保が私たちに課せられた大きな課題である。 □ 私たちの暮らしと税、リンカーンカード

【指導のポイント】税の作文

◎税をたくさん収めている家族から税への考え方や苦勞について取材させてみることから取り組ませた。

【指導のポイント】リンカーンカード

◎予習・授業(ノート)・復習をつなげる



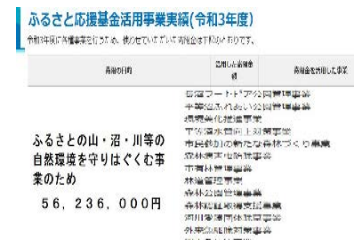
【指導のポイント】広報TOMEの活用

◎地元の課題を見付けさせる



【指導のポイント】地元資料の活用

◎財源確保の努力に気付かせる。



3 実践の成果(◎)と課題(◆)

- ◎税の学習の中に、国税庁ホームページ、専門家の講話、レプリカ資料、パンフレット「私たちの暮らしと税」といった様々な資料を効果的に取り入れることによって、生徒は税を身近なものとしてとらえることができた。
- ◎国税庁や税務署発行の資料を活用することで、財政についての新しい課題を見付けることができた。
- ◆最新の情勢に対応した資料の開発や教材の開発をする必要があり、生徒が税をより身近な物としてとらえ、主体的にかかわることができるような継続した取り組みが必要であると感じている。

令和4年度 租 税 教 育 推 進 協 力 者

【小学校】

(順不同)

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
新 田 小学校	6 学年	鈴 木 美 樹 教諭
登 米 小学校	6 学年	佐 藤 正 彦 教諭
宝 江 小学校	6 学年	佐 藤 日 向 教諭
中津山 小学校	6 学年	袋 由 利 教諭
米 岡 小学校	6 学年	及 川 まゆみ 教諭
柳 津 小学校	6 学年	加 茂 篤 思 教諭

【中学校】

所 属	担 任 ・ 担 当	氏 名
登 米 中学校	社会科	中津川 英 樹 教諭
津 山 中学校	社会科	藤 浦 悟 主幹教諭

令和4年度登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
登米市教育委員会	教 育 長	小野寺 文 晃
宮城県東部教育事務所	所 長	佐々木 晃
登米市教育支援センター	所 長	笠 原 英 康
登米市小学校長会	会 長 (米岡小学校長)	山 田 伸一郎
登米市中学校長会	会 長 (中田中学校長)	渡 邊 峻
県北高等学校長会	登米地区代表 (佐沼高等学校長)	狩 野 秀 明
登米市生涯学習課	生涯学習課長	山 形 敦
登米市納税貯蓄組合連合会	会 長	及 川 圭 助
公益社団法人 登米法人会	会 長	工 藤 貞 夫
東北税理士会宮城県北支部 佐 沼 部 会	部 会 長	佐々木 健 之
佐 沼 税 務 署	署 長	高 津 一 昭
宮城県東部県税事務所 登米地域事務所	所 長	三 浦 保 徳
登 米 市	総務部次長兼 税 務 課 長	佐 藤 靖

《事務局》

佐 沼 税 務 署	総 務 課 長	泉 健 一
佐 沼 税 務 署	総 務 係 長	白 取 浩 紀

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原 仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚 豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川 喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺 薦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山 順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原 一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋 節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野 寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階 堂和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原 一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野 寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野 寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	新田第二小	6 学 年	菅 原 博 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	佐々木 勝 江 教諭
東 和 町	嵯峨立小	6 学 年	高 橋 秀 憲 教諭
中 田 町	上 沼 小	5 学 年	鈴 木 典 幸 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	水 沼 勝 教諭
米 山 町	桜岡小	6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	熱 海 宏 明 教諭
南 方 町	南 方 小	6 学 年	佐 藤 秀 明 教諭
登 米 町	講 師	社 会 科	三 浦 秀 治 教諭
石 越 町	石 越 中	社 会 科	山 家 英 樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	新田第二小	3 学 年	菅 原 博 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	萩 田 志 保 子 教諭
東 和 町	米 谷 小	5 学 年	鈴 木 真 理 教諭
中 田 町	浅 水 小	5 学 年	佐 藤 教 子 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	兵 藤 清 美 教諭
米 山 町	中 津 山 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	桜 井 ひ ろ み 教諭
南 方 町	東 郷 小	5 学 年	熊 谷 俊 子 教諭
迫 町	新 田 中	社 会 科	中 津 川 英 樹 教諭
米 山 町	米 山 中	社 会 科	石 田 康 之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	北 方 小	T T	岩 渕 安 弘 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	熱 海 宏 明 教諭
東 和 町	錦 織 小	5 学 年	菅 原 善 彦 教諭
中 田 町	桜 場 小	5 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	後 藤 智 子 教諭
米 山 町	米 岡 小	5 学 年	秀 由 佳 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	野 里 恵 二 教諭
南 方 町	西 郷 小	5 学 年	笹 原 明 美 教諭
迫 町	佐 沼 中	社 会 科	大 場 正 浩 教諭
中 田 町	中 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫 町	森 小	4 学 年	金 野 ゆ か り 教諭
登 米 町	登 米 小	6 学 年	飯 塚 市 代 教諭
東 和 町	鱒 淵 小	6 学 年	中 井 充 夫 教諭
中 田 町	石 森 小	5 学 年	岩 渕 公 一 教諭
豊 里 町	豊 里 小	5 学 年	矢 野 美 智 代 教諭
米 山 町	善 王 寺 小	5 学 年	遠 藤 聡 子 教諭
石 越 町	石 越 小	5 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
南 方 町	南 方 小	6 学 年	石 井 大 志 教諭
東 和 町	東 和 中	社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
豊 里 町	豊 里 中	社 会 科	矢 内 昭 裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5学年	加瀬 谷武敏 教諭
中田町	新井田小	6学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小		6学年	千葉 克憲 教諭
錦織小		5学年	佐藤 理英 教諭
石森小		5学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小		6学年	鈴木 周 教諭
中津山小		5学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小		6学年	鈴木 明美 教諭
東郷小		5学年	千葉 裕子 教諭
柳津小		6学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中		社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中		社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第一小	小	6 学 年	秋 葉 徹 教諭
嵯峨立小	小	5・6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
上 沼 小	小	6 学 年	熊 谷 真 理 子 教諭
浅 水 小	小	6 学 年	鈴 木 勝 彦 教諭
豊 里 小	小	6 学 年	寺 内 篤 教諭
善王寺小	小	5・6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
西 郷 小	小	5 学 年	千 葉 洋 子 教諭
横 山 小	小	5 学 年	佐 藤 秀 俊 教諭
東 和 中	中	社 会 科	高 橋 和 芳 教諭
南 方 中	中	社 会 科	菅 原 栄 治 教諭

平成19年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田第二小	小	6 学 年	永 倉 郁 裕 教諭
米 川 小	小	6 学 年	萩 原 達 也 教諭
鱒 淵 小	小	3・4 学 年	長 南 忠 男 教諭
宝 江 小	小	6 学 年	佐 藤 朱 美 教諭
中 津 山 小	小	6 学 年	米 島 久 智 教諭
米 岡 小	小	6 学 年	三 浦 弘 義 教諭
石 越 小	小	6 学 年	高 橋 聡 子 教諭
南 方 小	小	6 学 年	鈴 木 久 美 教諭
登 米 中	中	社 会 科	藤 浦 悟 教諭
津 山 中	中	社 会 科	飯 川 弘 芳 教諭

平成20年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	小	6 学 年	菅 原 善 彦 教諭
森 小	小	特 別 支 援	芳 賀 明 洋 教諭
桜 岡 小	小	6 学 年	千 葉 高 教諭
善王寺小	小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 津 山 小	小	6 学 年	村 上 喜 久 美 教諭
米 谷 小	小	5 学 年	佐 々 木 里 香 教諭
石 森 小	小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
加 賀 野 小	小	6 学 年	大 友 厚 子 教諭
新 田 中	中	社 会 科	箱 石 雄 悟 教諭
石 越 中	中	社 会 科	田 口 勇 介 教諭

平成21年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	小	6 学 年	千 葉 恵 理 子 教諭
森 小	小	5 学 年	鈴 木 淳 教諭
錦 織 小	小	6 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
浅 水 小	小	6 学 年	小 野 寺 博 美 教諭
米 岡 小	小	6 学 年	佐 藤 英 明 教諭
南 方 小	小	6 学 年	高 橋 敏 子 教諭
柳 津 小	小	6 学 年	菅 原 満 夫 教諭
佐 沼 中	中	社 会 科	小 山 紘 明 教諭
米 山 中	中	社 会 科	守 康 幸 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛	教諭
米 谷 小	社会科 主任	小 畠 宏 夫	教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹	教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂	教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有	教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎	教諭
豊 里 中	社 会 科	井 上 鮎 香	教諭
南 方 中	社 会 科	富 安 隆 文	教諭

平成23年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀	教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博	教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男	教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫	教諭
中 田 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
津 山 中	社 会 科	飯 川 弘 芳	教諭

平成24年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟	教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子	教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み	教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦	教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄	教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典	教諭
東 和 中	社 会 科	藤 浦 悟	教諭
石 越 中	社 会 科	伊 藤 圭	講師

平成25年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純	教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀	教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉	教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀	教諭
横 山 小	教 務 主 任	鈴 木 明 美	教諭
登 米 中	社 会 科	遠 藤 孝	講師
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学年	鈴木健太郎	教諭
登米小	6 学年	伊藤敬	教諭
米川小	6 学年	高橋寛	教諭
宝江小	6 学年	鈴木真亀子	教諭
豊里小	6 学年	千葉恵理子	教諭
米山東小	6 学年	五十嵐裕子	教諭
南方小	社会科	後藤善史	教頭
柳津小	教務主任	菅原満夫	教諭
新田中	社会科	箱石雄悟	教諭
豊里中	社会科	中津川秀樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	6 学年	佐々木理	教諭
錦織小	教務主任	岩渕安弘	教諭
加賀野小	6 学年	小幡秀明	教諭
米岡小	6 学年	佐藤智之	教諭
石越小	6 学年	門田洋之	教諭
東郷小	6 学年	金野ゆかり	教諭
佐沼中	社会科	及川正生	教諭
中田中	社会科	白石善郎	教諭

平成28年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北方小	6 学年	佐藤純	教諭
米川小	6 学年	佐藤理英	教諭
上沼小	6 学年	佐藤秀明	教諭
中津山小	6 学年	鈴木周一	教諭
南方小	6 学年	佐藤ゆかり	教諭
横山小	教務主任	浅野克樹	教諭
東和中	社会科	林佳舗	講師
南方中	社会科	鈴木一郎	教諭

平成29年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6 学年	高橋慎	教諭
米谷小	6 学年	阿部亘平	教諭
石森小	6 学年	高橋寛	教諭
浅水小	6 学年	佐藤真紀	教諭
西郷小	3 学年	佐々木芽衣子	教諭
柳津小	5 学年	佐藤育子	教諭
石越中	社会科	箱石雄悟	教諭
津山中	社会科	白石善郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	鈴木 一郎	教諭
登 米 小	6 学 年	後 藤 步	教諭
錦 織 小	6 学 年	岩 渕 安 弘	教諭
宝 江 小	6 学 年	遠 藤 寛 樹	教諭
豊 里 小	6 学 年	皆 川 玲 奈	教諭
米 山 東 小	6 学 年	千 葉 美 由 紀	教諭
登 米 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

令和元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
上 沼 小	6 学 年	村 上 喜 久 美	教諭
浅 水 小	6 学 年	及 川 史 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	林 智 美	教諭
米 岡 小	6 学 年	高 橋 宏 典	教諭
石 越 小	6 学 年	二 階 堂 奈 々	教諭
横 山 小	6 学 年	佐 藤 祐 子	教諭
佐 沼 中	社 会 科	田 口 直 彦	教諭
東 和 中	社 会 科	伊 勢 健 二	教諭

令和2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
北 方 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
米 谷 小	6 学 年	川 村 愛	教諭
錦 織 小	6 学 年	瀬 渕 文 康	教諭
石 越 小	6 学 年	石 川 裕 佳 子	教諭
西 郷 小	6 学 年	高 橋 久 美 子	教諭
柳 津 小	6 学 年	鈴 木 操	教諭
中 田 中	社 会 科	木 村 伸	教諭
豊 里 中	社 会 科	遠 藤 孝	教諭

令和3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐 沼 小	6 学 年	高 橋 幸 恵	教諭
米 川 小	6 学 年	三 浦 咲 稀	教諭
加 賀 野 小	教 務 主 任	加 藤 英 樹	主幹教諭
豊 里 小	6 学 年	三 浦 幸 恵	教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 光 史	教諭
東 郷 小	6 学 年	千 葉 崇 峰	教諭
東 和 中	社 会 科	佐 藤 文	教諭
南 方 中	社 会 科	吉 田 正 一 郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

令和4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
新田小	6学年	鈴木美樹	教諭
登米小	6学年	佐藤正彦	教諭
宝江小	6学年	佐藤日向	教諭
中津山小	6学年	袋由利	教諭
米岡小	6学年	及川まゆみ	教諭
柳津小	6学年	加茂篤思	教諭
登米中	社会科	中津川英樹	教諭
津山中	社会科	藤浦悟	主幹教諭

令和5年3月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） 電話番号：0220-22-2501(代表)